

ライフステージ	学童期	領域	栄養・食生活
課題	生活リズムを整えましょう(食生活・睡眠)		

取り組みの内容

奈良市教職員研修において研修講座「学校教育での食育の進め方」を実施しました。

- ◎ 参加対象・・・全ての奈良市立小中学校教職員
- ◎ 実施回数・・・年間 3 回
- ◎ 研修内容

食育の授業を参観した後、参加者による研究協議及び指導主事による指導講評を行い、成果と課題の共有を図れるようにする。

(例) 平成 23 年度

「飲み物について考えよう」・・・ 望ましい飲み物のとり方を理解し、気をつけていこうとする意欲を育てる

「朝ごはん元気アップ」・・・ 朝ごはんの大切さを理解し、充実した朝ごはんの内容を考えさせる。

「野菜を食べよう」・・・野菜のはたらきを知り、野菜を食べることの大切さを理解させる。

一食に必要な野菜の量を知り、給食だけでなく、家庭でも野菜を食べようとする意欲を持つことができる。

奈良市教育協議会「食育推進部会」に全市立小中学校から各 1 名以上の教員が参加しました。

- ◎平成 23 年度は、「生活習慣改善の取組事例集」を作成しました。

主な項目としては、「朝ごはんのはたらき」「献立作り」「給食について」「野菜を知ろう」「生活実態調査から」「食べ物のはたらき(栄養バランス)」「おやつのはたらき」です。

評価

新学習指導要領の総則に「学校における食育の推進」が盛り込まれており、栄養教諭及び栄養職員が中心となり、それぞれの学校園において「食育」の取組が進められています。

指導者である教員が「生活リズムを整えることがなぜ大切なのか」「朝ごはんを食べることがなぜ大切なのか」など、科学的な根拠をもって指導できるよう研修講座等も充実しています。

課題

現在行われている各学校園の取組の充実を図り、よい実践を共有できるようにするために研修の継続が必要です。

ライフステージ	学童期	領域	運動
課題	体力づくりをしましょう		

関係団体の取り組みの実施状況							
行政・関係機関が取り組むこと	医師会	歯科医師会	薬剤師会	生涯学習財団	地域教育課	保健総務課	健康増進課
外遊びの普及・啓発							○
安全な遊び場を作る					○		○
子ども会などの活性化を図りリーダーを養成する					○		○
奈良市 21 健康づくり応援団を増やす(運動についての情報提供)	○	○	○	○		○	○

取り組みの内容
各小学校の体力テスト結果からそれぞれ課題を設定し、外遊びの時間確保や、縄跳び、マラソン等、各校の実態に応じた推進計画を作成、年間計画とともに「体力向上推進プランニングシート」をまとめるとともに、その実践を行っています。 健康増進課主催の「20 日ならウォーク」では、健康づくりをテーマとした親子で参加できるイベントを開催しました。

評価
平成 23 年度末の各学校による評価結果(小学校) ※数値は「1できた」「2ややできた」「3あまりできていない」「4できていない」の内、1と2の合計値
・平成 22 年度体力テスト結果と比べ、平成 23 年度は、自校の課題の改善ができたか。・・・68.1%
・設定した具体的達成目標は、平成 23 年度結果において達成できたか。・・・57.4%
・目標達成のための具体的取組は、適切に実施できたか・・・89.3%
・年間計画は適切に実施できたか。・・・91.5%
・体力向上推進の取組は、学校全体の取組として定着を図ることができたか。・・・76.5%

課題
継続的な取組の実施により、改善が見込まれます。体育の授業を通じて、運動能力(体の使い方)を向上させる指導も有効であると考えられ、平成24年度にモデル校で測定を実施しています。平成 24 年度から「体力向上推進プランニングシート」の取組を、市立幼稚園に拡大し実施しています。

ライフステージ	学童期	領域	喫煙
課題	未成年者の喫煙をなくしましょう		

健康指標の推移						
項目		ベースライン値	中間値(H17)	最終値	目標値	最終評価
中学3年生の喫煙率	男子	7.2%(県)	6.5%(県)	—	0%	—
	女子	2.8%(県)	2.3%(県)	—	0%	—
中学3年生喫煙者のうち吸い始めが小学4年生以下だった人の割合	男子	5.2%(県)	23.5%(県)	—	0%	—
	女子	3.1%(県)	18.6%(県)	—	0%	—
就学前後で喫煙防止教育を受けている子どもの割合		38.3%(H16)	69.1%	—	100%	—
公共の場や事業所の禁煙実施施設の割合		20%(県)	—	—	100%	—

関係団体の取り組みの実施状況							
行政・関係機関が取り組むこと	医師会	歯科医師会	薬剤師会	学校教育課	環境政策課	保健総務課	健康増進課
就学前後からの禁煙防止教育の推進や強化を図る	○						○
関係機関と連携し、未成年向けの禁煙相談など禁煙支援の充実を図り、情報発信を強化する(禁煙支援機関・インターネット・携帯メールによる禁煙方法など)	○						○
学生への禁煙支援の強化	○						○
禁煙支援窓口の設置	○					○	○
再喫煙防止のため、禁煙支援プログラムの紹介を積極的に行う	○						○
禁煙支援ネットワークづくりの推進	○						○
禁煙をサポートしてくれる人を増やす	○						○
しみんだよりやマスメディアなど通じて受動喫煙防止の正しい情報を伝える	○						○
禁煙推進事業の啓発の充実を図る(世界禁煙デーなど)	○	○	○			○	○
公共の場や教育施設の禁煙化を徹底	○	○		○			○
事業所の禁煙化を推進	○	○					
路上喫煙やポイ捨て禁止を徹底	○				○		
奈良市21健康づくり応援団を増やす(禁煙支援機関・お店や施設の禁煙化・健康づくり情報の提供)	○		○			○	○

取り組みの内容
<p>奈良市立学校園敷地内においては、平成19年4月1日より子どもの受動喫煙、未成年者の喫煙を防ぐとともに、職員の健康を守るため、全面禁煙となりました。平成21年には奈良市路上喫煙防止に関する条例を制定、路上喫煙禁止地域ができ、罰則規定も定められています。また、市では、奈良市21健康づくり応援団に「分煙」は含めず「禁煙」のみに統一し、禁煙施設の登録と啓発をして増加を図るなど、受動喫煙防止の環境が広がりました。</p> <p>児童や保護者向けの喫煙・受動喫煙防止教育を、学校医や学校薬剤師、養護教諭、健康増進課等で実施しました。</p>

評価
<p>学校園敷地内においては、全面禁煙の徹底が図られていると考えています。しかし、正確な数値はありませんが、市民からの公共の場の禁煙化を求める声はまだ聞かれ、禁煙化の更なる推進が求められている状況と考えます。</p>

課題

学校園敷地外に出た職員の休憩時間の喫煙等マナーやモラルの問題が残っています。受動喫煙防止の環境整備に今後も重点を置き、公共の場の禁煙化の更なる推進を図ります。

ライフステージ	学童期	領域	歯の健康
課題	むし歯を予防しましょう		

健康指標の推移

項目	ベースライン値	中間値(H17)	最終値	目標値	最終評価
小学生のむし歯未処置者の割合	35.2%	31.2%(県)	31.8%(県)	減少	◎
12歳児における一人平均むし歯数(永久歯)	2.9本(国)	1.62本	0.97本	1本以下	◎

小学生のむし歯未処置者の割合と12歳児における一人平均むし歯数(永久歯)は、ともに目標値を達成しました。

関係団体の取り組みの実施状況

行政・関係機関が取り組むこと	歯科医師会	薬剤師会	歯科衛生士会	歯科技工士会	保健給食課	学校教育課	保健総務課	健康増進課
「8020運動」を啓発・推進	○		○	○				○
歯の健康について正しい知識や噛むことの大切さを普及・啓発	○	○	○	○				○
正しい歯みがき方法を普及・啓発	○	○	○					○
むし歯予防対策を推進するために関係機関と情報交換するなど連携を図る	○		○					○
フッ化物をとり入れたむし歯予防を推進(フッ化物入りの歯みがき剤・フッ化物塗布など)	○	○	○		○			○
かかりつけ歯科医を推奨し、歯の健康管理の基盤づくり、健康管理体制整備、機能維持に努める	○		○					○
奈良市 21 健康づくりの応援団を増やす(歯の健康についての情報提供)	○	○					○	○

取り組みの内容

「歯の衛生週間」にちなみ、歯を守るポスター作品展では、歯の大切さや口腔疾患を予防するきっかけとして周知し、各小学校にポスターを募集しました。歯っぴいフェスティバルでは、歯を守るポスター優秀作品を展示し、関係機関と協働で開催しました。

評価

小学生のむし歯未処置者の割合と12歳児における一人平均むし歯数(永久歯)の目標値を達成したことで、学童期の口腔内が改善していると思われます。

課題

「歯の衛生週間」にちなみ、歯の大切さや口腔疾患を予防し、自分の口腔内に関心をもてるよう学校教育課・保健給食課と連携し、啓発します。歯っぴいフェスティバルの内容等関係機関と調整し、参加者の増加を図ります。